

〔テーマ〕訪問看護を推進するリーダーとして地域活動を行うために、どのような方策があるか

聖路加国際大学大学院看護学研究科教授
山田 雅子

到達目標

- ・自地域における訪問看護の基盤整備・推進のための具体的な方策を導き出し、実践につなげることができる。
- ・訪問看護ハイレベル人材を地域において育成するための方策を具体的に考えることができる。
- ・グループワークで導き出した内容を誰にどのように行うのかも含めて実際の状況を想定したプレゼンテーションを考えることができる。
- ・グループワークした内容を、プレゼンテーションすることができる。

概要

● 学ぶ内容

- ・午前・午後の講義やグループワークを通してそれぞれの地域での訪問看護推進に関する課題等を検討したのち、グループ内で1名の地域を選びその地域における訪問看護推進活動(量及び質的確保)の方策を具体的に考える。また、地域においてハイレベル人材を育成するための方策について提案する
- ・グループワークで導き出した内容を誰にどのように行うのかも含めて、実際の状況を想定しプレゼンテーションする。フィードバックをもらうことを通して自らの課題に気付く
- ・フィードバックを行うことにより地域においても他者の提案に対し適切な助言建設的な意見を述べることができるようにする
- ・講評

● P 78 ページ参照